

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
外来	■ エントランスエリア				
	エントランス	－	－	400 m ²	・車椅子・ストレッチャー置き場併設
	受付カウンター	－	－	上記に含む	
	中央待合・ブロック待合	－	－	上記に含む	
	■ 診察室エリア				
	外来受付	12 m ²	6	72 m ²	・ブロック受付方式 ・ブロック構成については設計段階で検討 ・秘匿性の高い疾患や患者、精神科に対応するため、動線や待合を分離した小ブロック(受付・診察室2・待合)を整備
	診察室	12 m ²	24	288 m ²	・関連ある診療科を組み合わせたブロック方式、一部フリーアドレス制 ・共用診察室に加えて下記の室を整備 ・初診実習に用いる広い診察室2～4室 ・産婦人科内診室 1 室 ・耳鼻科診察室1室 ・看護外来診察室 2 室程度 ・診療科に特有の検査、処置室（ギプス室、眼科検査室、膀胱鏡室、心理検査・カウンセリング（心理士作業室）等） ・オンライン診療、研修医等の遠隔指導にも使用できる診察室（カメラ・マイク設備、防音配慮） ・予診室（問診・身長体重バイタル測定等） ・バックヤードに職員動線を整備
	診察室（大）	20 m ²	4	80 m ²	
	相談室	8 m ²	4	32 m ²	・医療相談、面談、栄養指導 ・心理検査・カウンセリング室（心理士作業室）、地域連携部門の相談室、その他、各部門の相談・面談室との共用も検討
	相談室（大）	20 m ²	2	40 m ²	
	中央採血室	50 m ²	1	50 m ²	・採血台4台、ベッド1台 ・車いすでの採血に配慮 ・採血管準備装置を設置
	中央採尿トイレ	54 m ²	1	54 m ²	
	中央処置室	60 m ²	1	60 m ²	・必要に応じて各ブロックに専門的な処置が可能な処置室を配置 ・中央処置室のベッド数等については設計開始までに検討する。
	外来化学療法室	81 m ²	1	81 m ²	・9ベッド
	抗がん薬調製室	18 m ²	1	18 m ²	・抗がん薬自動調製ロボット、安全キャビネットを設置することを考慮した耐荷重とする。 ・注射薬カートの設置スペースを確保
	服薬指導室	10 m ²	1	10 m ²	・薬剤師面談に使用
	■ 訪問診療エリア				
	訪問看護事務室	40 m ²	1	40 m ²	・「訪問看護ステーション」としても運用可能となるよう事務室は専用区画とする。
	訪問診療専用駐車場	－	－	屋外	
	（外来部門 計）			1,225 m ²	
	部門内共用部		10%	123 m ²	
	（外来部門 合計）			1,348 m ²	
救急	■ 救急外来エリア				
	救急患者入口	－	1	部門内共用部に含む	・ウォークイン患者用
	救急搬送入口	－	1	部門内共用部に含む	・救急車搬送用
	救急受付	5 m ²	1	5 m ²	・時間外、土日祝日の受付にも対応
	救急待合	－	－	部門内共用部に含む	・ウォークイン患者用
	救急初療室	26 m ²	3	78 m ²	・救急車搬送患者用（全室個室）
	観察室	32 m ²	1	32 m ²	・処置後、半日程度の治療が可能なスペース
	救急診察室	11 m ²	2	21 m ²	・ウォークイン患者用（全室個室）
	高度処置室	50 m ²	1	50 m ²	
	除染室	18 m ²	1	18 m ²	
	救急隊員待機室	18 m ²	1	18 m ²	・流し台、冷蔵庫等の設置スペース
	■ 感染症エリア				
	感染入口	6 m ²	1	6 m ²	・感染症患者のプライバシーにも配慮
	感染待合	－	－	部門内共用部に含む	
	感染症診察室（陰圧）	11 m ²	2	21 m ²	
	■ 多目的医療用ヘリ関連施設				
	屋上ヘリポート	－	1	屋外	
	地上格納庫	－	1	屋外	
	運航通信センター	30 m ²	1	30 m ²	
	運航待機室	20 m ²	1	20 m ²	
	（救急部門 計）			299 m ²	
	部門内共用部		10%	30 m ²	
	（救急部門 合計）			328 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門		室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
病棟	第1病棟 (HCU)	■病室エリア				
		病室（全個室）	15 m ²	16	240 m ²	・救急搬送患者、術後のリハビリ、入院患者の急性増悪に対応 ・一部の病室には透析（血液浄化）に対応した給排水設備およびpH中和装置を整備 ・全病室にトイレを設置
		多目的トイレ	6 m ²	1	6 m ²	
		ストレッチャー浴室	10 m ²	1	10 m ²	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	85 m ²	1	85 m ²	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7 m ²	1	7 m ²	
		診察・処置室	18 m ²	1	18 m ²	・医師勤務室を兼ねる
		面談・説明室	5 m ²	2	10 m ²	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36 m ²	1	36 m ²	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17 m ²	1	17 m ²	
		看護師仮眠室	6 m ²	1	6 m ²	
		（第1病棟 計）			435 m ²	
	第2病棟 (急性期+RI)	■病室エリア				
		重症個室	15 m ²	4	60 m ²	・スタッフステーション付近に設置
		一般個室(トイレ)	13 m ²	17	221 m ²	
		差額個室(トイレ・シャワー)	18 m ²	10	180 m ²	
		食堂・デイルーム	40 m ²	1	40 m ²	・自動販売機スペースを配置
		多目的トイレ	6 m ²	2	12 m ²	
		シャワー室	7 m ²	1	7 m ²	
		ストレッチャー浴室	10 m ²	1	10 m ²	
		コインランドリーコーナー	5 m ²	1	5 m ²	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	170 m ²	1	170 m ²	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7 m ²	1	7 m ²	
		診察・処置室	9 m ²	1	9 m ²	
		面談・説明室	5 m ²	2	10 m ²	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36 m ²	1	36 m ²	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17 m ²	1	17 m ²	
		看護師仮眠室	6 m ²	1	6 m ²	
		■RI・緊急被ばく病室エリア				
		RIエントランスホール	50 m ²	1	50 m ²	・管理区域内に整備し、プロテクターや救急カート等の保管スペースを確保
		RI・緊急被ばく患者病室	18 m ²	4	72 m ²	・前室を設け全て個室とする。 ・窓を設置し、患者の療養環境に配慮した設えとする。 ・全病室にトイレを設置（排水の配管はRI診療用と被ばく医療用で分離）
		線量測定室	8 m ²	1	8 m ²	・汚染検査室として、ハンドフットクロスモニタ等の各種測定器を設置 ・洗面（手洗い）設備
		RI準備室	10 m ²	1	10 m ²	・安全キャビネット、保管庫、冷蔵庫
		RI管理室	6 m ²	1	6 m ²	・モニタリング（中央監視）室
		シャワー室	6 m ²	1	6 m ²	
		廃棄保管室	27 m ²	1	27 m ²	
		RI処置室兼診察室	18 m ²	1	18 m ²	・電子カルテ
		（第2病棟 計）			987 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門		室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
第3病棟 (急性期＋感染症)		■病室エリア				
		重症個室	15㎡	4	60㎡	・スタッフステーション付近に設置
		一般個室(トイレ)	13㎡	17	221㎡	
		差額個室(トイレ・シャワー)	18㎡	10	180㎡	
		食堂・デイルーム	40㎡	1	40㎡	・自動販売機スペースを配置
		多目的トイレ	6㎡	2	12㎡	
		シャワー室	7㎡	1	7㎡	
		ストレッチャー浴室	10㎡	1	10㎡	
		コインランドリーコーナー	5㎡	1	5㎡	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	170㎡	1	170㎡	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7㎡	1	7㎡	
		診察・処置室	9㎡	1	9㎡	
		面談・説明室	5㎡	2	10㎡	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36㎡	1	36㎡	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17㎡	1	17㎡	
		看護師仮眠室	6㎡	1	6㎡	
		■感染症病室エリア				
		感染症エントランス(ガウンテクニックスペース)	18㎡	1	18㎡	・感染症エントランス(ガウンテクニックスペース) ・職員用のトイレに加え、シャワー室があることが望ましい。
		第二種感染症病床	30㎡	4	120㎡	・前室付きの陰圧個室とする。 ・全病室にトイレを設置（車いす対応が望ましい）
		スタッフコーナー・器材室・洗浄室	35㎡	1	35㎡	
		感染性廃棄物保管室	3㎡	1	3㎡	
		(第3病棟 計)			966㎡	
第4病棟 (急性期)		■病室エリア				
		重症個室	15㎡	4	60㎡	・スタッフステーション付近に設置
		一般個室(トイレ)	13㎡	22	286㎡	
		差額個室(トイレ・シャワー)	18㎡	9	162㎡	
		食堂・デイルーム	40㎡	1	40㎡	・自動販売機スペースを配置
		多目的トイレ	6㎡	2	12㎡	
		シャワー室	7㎡	1	7㎡	
		ストレッチャー浴室	10㎡	1	10㎡	
		コインランドリーコーナー	5㎡	1	5㎡	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	170㎡	1	170㎡	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7㎡	1	7㎡	
		診察・処置室	18㎡	1	18㎡	
		面談・説明室	5㎡	2	10㎡	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36㎡	1	36㎡	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17㎡	1	17㎡	
		看護師仮眠室	6㎡	1	6㎡	
		(第4病棟 計)			846㎡	
第5病棟 (地ケア)		■病室エリア				
		一般個室(トイレ)	13㎡	15	195㎡	
		差額個室(トイレ・シャワー)	18㎡	12	216㎡	
		4床室	40㎡	4	160㎡	併設トイレを含む
		食堂・デイルーム	40㎡	1	40㎡	・自動販売機スペースを配置
		リハビリコーナー	18㎡	1	18㎡	・平行棒やエアロバイク2台程度がおけるスペース
		集合トイレ	10㎡	1	10㎡	
		多目的トイレ	6㎡	2	12㎡	
		シャワー室	7㎡	1	7㎡	
		特殊浴室	17㎡	1	17㎡	・リフトバス等の機械浴設備を設置
		コインランドリーコーナー	5㎡	1	5㎡	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	170㎡	1	170㎡	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7㎡	1	7㎡	
		診察・処置室	18㎡	1	18㎡	
		面談・説明室	5㎡	2	10㎡	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36㎡	1	36㎡	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17㎡	1	17㎡	
		看護師仮眠室	6㎡	1	6㎡	
		(第5病棟 計)			944㎡	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門		室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
	第6病棟 (回復期リハ)	■病室エリア				
		一般個室(トイレ)	13 m ²	15	195 m ²	
		差額個室(トイレ・シャワー)	18 m ²	12	216 m ²	
		4床室	40 m ²	4	160 m ²	併設トイレを含む
		食堂・デイルーム	40 m ²	1	40 m ²	・自動販売機スペースを配置
		リハビリコーナー	18 m ²	1	18 m ²	・平行棒やエアロバイク2台程度がおけるスペース
		集合トイレ	10 m ²	1	10 m ²	
		多目的トイレ	6 m ²	2	12 m ²	
		シャワー室	7 m ²	1	7 m ²	
		特殊浴室	17 m ²	1	17 m ²	・リフトバス等の機械浴設備を設置
		コインランドリーコーナー	5 m ²	1	5 m ²	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	170 m ²	1	170 m ²	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7 m ²	1	7 m ²	
		診察・処置室	18 m ²	1	18 m ²	
		面談・説明室	5 m ²	2	10 m ²	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36 m ²	1	36 m ²	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17 m ²	1	17 m ²	
		看護師仮眠室	6 m ²	1	6 m ²	
		(第6病棟 計)			944 m ²	
	第7病棟 (回復期リハ)	■病室エリア				
		一般個室(トイレ)	13 m ²	15	195 m ²	
		差額個室(トイレ・シャワー)	18 m ²	12	216 m ²	
		4床室	40 m ²	4	160 m ²	併設トイレを含む
		食堂・デイルーム	40 m ²	1	40 m ²	・自動販売機スペースを配置
		リハビリコーナー	18 m ²	1	18 m ²	・平行棒やエアロバイク2台程度がおけるスペース
		集合トイレ	10 m ²	1	10 m ²	
		多目的トイレ	6 m ²	2	12 m ²	
		シャワー室	7 m ²	1	7 m ²	
		特殊浴室	17 m ²	1	17 m ²	・リフトバス等の機械浴設備を設置
		コインランドリーコーナー	5 m ²	1	5 m ²	
		■スタッフエリア				
		スタッフステーション	170 m ²	1	170 m ²	・作業スペースに加え、薬剤準備室、器材庫、汚物室、使用済みリネン室、リネン室、廃棄物保管庫等を付設 ・職員用トイレ ・医療系学生の作業スペースを確保
		病棟師長室	7 m ²	1	7 m ²	
		診察・処置室	18 m ²	1	18 m ²	
		面談・説明室	5 m ²	2	10 m ²	・患者や患者家族への説明、栄養指導、保健指導など
		カンファレンス室	36 m ²	1	36 m ²	・学生カンファ（控室）を兼ねる
		スタッフ休憩室	17 m ²	1	17 m ²	
		看護師仮眠室	6 m ²	1	6 m ²	
		(第7病棟 計)			944 m ²	
		(病棟部門 計)			6,066 m ²	
		部門内共用部		50%	3,033 m ²	
		(病棟部門 合計)			9,099 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
手術・中材・臨床工学	■手術室エリア				
	手術管理室	28 m ²	1	28 m ²	・受付を附設
	患者更衣室	3 m ²	2	6 m ²	
	手術ホール	207 m ²	1	207 m ²	・中央ホール型 ・病棟用ベッド・ストレッチャープールを併設
	手術室（大）	65 m ²	1	65 m ²	・大手術室 1 室（クラスⅡ）
	前室	12 m ²	1	12 m ²	
	手術室（BCR）	50 m ²	1	50 m ²	・汎用手術室（BCR、クラスⅠ）
	前室	12 m ²	1	12 m ²	
	手術室	50 m ²	3	150 m ²	・汎用手術室2室（うち 1 室は陰圧・陽圧切替クラスⅡ）うち1室は模擬手術室として教育・研修にも活用 ・日帰り手術対応手術室 1 室
	準備室	36 m ²	1	36 m ²	・手術器械、診療材料の保管スペース
	薬剤準備室	60 m ²	1	60 m ²	
	検体処理室	5 m ²	1	5 m ²	
	機器保管室	95 m ²	1	95 m ²	
	スタッフ更衣室（男女）	15 m ²	2	30 m ²	
	麻酔科医執務室	12 m ²	1	12 m ²	
	休憩室	12 m ²	1	12 m ²	
	カンファレンス室	28 m ²	1	28 m ²	
	説明室	6 m ²	1	6 m ²	・患者や患者家族への説明
	■中央材料室エリア				
	洗浄室	80 m ²	1	80 m ²	
	組立室	65 m ²	1	65 m ²	
	既滅菌室	62 m ²	1	62 m ²	
	払出室	20 m ²	1	20 m ²	
	事務・休憩室	21 m ²	1	21 m ²	
	スタッフ更衣室（男女）	9 m ²	2	18 m ²	
	■臨床工学エリア			0 m ²	
	機器管理室	50 m ²	1	50 m ²	・臨床工学部門が中央保管する医療機器の保管スペース ・臨床工学部門が管理する医療機器に関連した備品、部品等の保管スペース ・機器メンテナンス場としても利用（酸素・空気配管、機器充電に対応した口数の電源、水道等を整備）
	臨床工学技士執務室	28 m ²	1	28 m ²	・最大で6～7 名程度の使用を想定
	当直室	5 m ²	1	5 m ²	
	（手術・中材・臨床工学部門 計）			1,163 m ²	
	部門内共用部		20%	233 m ²	
	（手術・中材・臨床工学部門 合計）			1,395 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
画像診断・放射線治療	■ 画像診断エリア				
	放射線受付	－	－	部門内共用部に含む	
	待合	－	－	部門内共用部に含む	
	患者更衣室	－	－	部門内共用部に含む	
	中央操作ホール	－	－	部門内共用部に含む	
	一般撮影室	21 m ²	2	42 m ²	
	乳房撮影室	17 m ²	1	17 m ²	
	骨密度測定室	6 m ²	1	6 m ²	
	X線T V室	24 m ²	1	24 m ²	・うち1室は透視下内視鏡でも使用するため、Cアーム型も設置可能な面積とする
	X線T V室	23 m ²	1	23 m ²	
	C T室	49 m ²	1	49 m ²	・うち1室は救急部門に隣接配置※再掲
	C T室	34 m ²	1	34 m ²	
	M R I 室	39 m ²	1	39 m ²	
	血管撮影室	76 m ²	2	152 m ²	・循環器用、脳神経外科・腹部用
	頭部用CT室	4 m ²	1	4 m ²	
	■ 放射線治療エリア				
	対外照射室	160 m ²	1	160 m ²	・リニアック
	小線源治療室	82 m ²	1	82 m ²	・リモートアフターローディング
	操作室	30 m ²	1	30 m ²	
	診察室	11 m ²	2	22 m ²	・うち1室は内診台を設置
	倉庫	17 m ²	1	17 m ²	・固定具を保管
	実験室（多目的室）	30 m ²	1	30 m ²	・ウェットラボを想定
	■ 核医学エリア				
	核医学検査受付	5 m ²	1	5 m ²	
	待合	17 m ²	1	17 m ²	
	S P E C T / C T 室	107 m ²	1	107 m ²	
	P E T / C T 室	49 m ²	1	49 m ²	
	診察室	6 m ²	1	6 m ²	
	処置室	12 m ²	1	12 m ²	・検査、治療前
	回復室	5 m ²	1	5 m ²	・検査、治療後
	薬剤調製室	8 m ²	2	16 m ²	・安全キャビネット、保冷庫を設置
	R I 保管・廃棄物室	15 m ²	1	15 m ²	
	R I 管理室	3 m ²	1	3 m ²	
	汚染検査室	5 m ²	1	5 m ²	
	患者専用トイレ	3 m ²	2	6 m ²	
	■ 病棟エリア				
	R I 病室	－	－	再掲	※再掲（病棟部門）
	■ スタッフエリア				
	放射線技師執務室	39 m ²	1	39 m ²	
	読影室	10 m ²	1	10 m ²	
	（画像診断・放射線治療部門 計）			1,023 m ²	
	部門内共用部		20%	205 m ²	
	（画像診断・放射線治療部門 合計）			1,228 m ²	
臨床検査	■ 検体検査・輸血検査エリア				
	検体検査室	440 m ²	1	440 m ²	
	輸血管理室	66 m ²	1	73 m ²	・血液冷蔵庫（輸血）スペースを併設
	細菌検査室	22 m ²	1	22 m ²	・BSL3に対応した施設とする
	細菌検査室（前室）	5 m ²	1	5 m ²	・出入り口にはインターロック機能をもつ二重扉を設置
	遺伝子検査室（検体処理室）	8 m ²	1	8 m ²	
	■ 生理機能検査エリア				
	エコー検査室	9 m ²	3	28 m ²	
	心電図室	12 m ²	1	12 m ²	
	トレッドミル心電図室	15 m ²	1	15 m ²	
	呼吸機能検査室	9 m ²	1	9 m ²	
	脳波検査室	10 m ²	1	10 m ²	
	聴力検査室	10 m ²	1	10 m ²	
	■ 病理検査エリア				
	病理検査室	45 m ²	1	45 m ²	
	術中迅速検査エリア	18 m ²	1	18 m ²	・手術部門の検体処理室に含めることも可とする ・感染患者の検体を扱う可能性があるため安全キャビネットを設置
	病理検体保管庫	13 m ²	1	13 m ²	・室温管理ができること。
	■ その他				
	技師室	54 m ²	1	54 m ²	
	（臨床検査部門 計）			761 m ²	
	部門内共用部		20%	152 m ²	
	（臨床検査部門 合計）			913 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
内視鏡	■ 受付エリア				
	内視鏡受付	3 ㎡	1	3 ㎡	
	待合	37 ㎡	1	37 ㎡	
	患者更衣室	4 ㎡	2	8 ㎡	・男女別が望ましい。
	■ 処置・検査エリア				
	説明室	9 ㎡	1	9 ㎡	
	前処置室	51 ㎡	1	51 ㎡	
	大腸内視鏡検査待機スペース	45 ㎡	1	45 ㎡	・トイレ（個室5～6室）を附設
	内視鏡室	30 ㎡	2	60 ㎡	・うち1室はモニター天吊りの広い検査・治療室とする。 ・ストレッチャー（リカバリベッド）上での検査・治療が可能な面積・動線に配慮する。 ・医療ガス配管、CO2配管のアウトレットを設けることを検討 ・医師による説明スペース（室）を併設することを検討
	透視下内視鏡室	0 ㎡	1	0 ㎡	・X線TV室を利用
	リカバリー室	12 ㎡	1	12 ㎡	
	機材庫	30 ㎡	1	30 ㎡	・将来的に検査室に転用可能な面積を確保 ・3台体制となった場合でも機材保管が可能な面積とすることを考慮
	■ スタッフエリア				
	スコープ洗浄室	10 ㎡	1	10 ㎡	・洗浄機は3台設置を想定する。
	スコープ保管スペース	6 ㎡	1	6 ㎡	・スコープ洗浄室とは区分したスペースを確保
	スタッフ執務室	20 ㎡	1	20 ㎡	・10人程度の利用を想定したカンファレンスルーム（コーナー）を併設
	（内視鏡部門 計）			291 ㎡	
	部門内共用部		10%	29 ㎡	
	（内視鏡部門 合計）			320 ㎡	
薬剤	■ 薬剤部門エリア				
	調剤室	170 ㎡	1	170 ㎡	・注射供給室は別に設けることも考慮。 ・アンプルピッカーの配置を考慮した面積、耐荷重とする。
	注射供給室	25 ㎡	1	25 ㎡	
	製剤室	16 ㎡	1	16 ㎡	・クリーンベンチを設置
	抗がん薬調製室	9 ㎡	1	9 ㎡	・安全キャビネットを設置することを考慮した耐荷重とする。
	医薬品情報室（DI室）	9 ㎡	1	9 ㎡	
	医薬品倉庫	－	－	調剤室に含む	・搬送ロボットの運行が可能な動線とする。 ・対応する診療内容や地域性、搬送頻度等を考慮した在庫量を踏まえて面積を検討
	検収室	－	1	上記に含む	
	服薬指導室	10 ㎡	1	10 ㎡	・患者側と職員側の2か所出入口を設置
	投薬窓口	11 ㎡	1	11 ㎡	・外来用
	書類保管スペース（処方箋等）	8 ㎡	1	8 ㎡	
	■ スタッフエリア				
	薬剤部長室	14 ㎡	1	14 ㎡	
	薬剤師執務室	54 ㎡	1	54 ㎡	・カンファレンスルーム（コーナー）を併設
	当直室	5 ㎡	1	5 ㎡	
	トイレ	3 ㎡	2	6 ㎡	・男女別が望ましい。
	■ 病棟エリア				
	薬剤準備室	－	1	再掲	・保冷库や麻薬金庫、点滴作業台、注射カートなどが設置できるスペースを確保
	■ 治験管理エリア				
	治験管理室	36 ㎡	1	36 ㎡	・事務管理、患者説明等に使用 ・外部スタッフによる業務実施も考慮した場所に配置する。
	治験薬管理室	26 ㎡	1	26 ㎡	
	（薬剤部門 計）			399 ㎡	
	部門内共用部		10%	40 ㎡	
	（薬剤部門 合計）			439 ㎡	
人工透析	■ 透析室エリア				
	透析室（個室を含む）	180 ㎡	1	180 ㎡	・受付窓口を付設 ・10ベッドを想定 ・ベッド間にはパーティションを設置するなどプライバシーに配慮
	スタッフステーション	－	1	上記に含む	
	患者用更衣室（男女別）	6 ㎡	2	12 ㎡	
	■ その他付帯諸室				
	物品保管庫	8 ㎡	1	8 ㎡	
	機械室	30 ㎡	1	30 ㎡	
	スタッフ執務室・休憩室	10 ㎡	1	10 ㎡	
	（人工透析部門 計）			240 ㎡	
	部門内共用部		10%	24 ㎡	
	（人工透析部門 合計）			264 ㎡	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
リハビリテーション	■ 受付エリア				
	受付	12 m ²	1	12 m ²	・スタッフ執務室に受付窓口を設けることも可とする
	■ リハビリテーションエリア				
	歩行スペース	60 m ²	1	60 m ²	
	理学療法エリア	120 m ²	1	120 m ²	・義肢装具保管スペースを設ける
	物理療法エリア	40 m ²	1	40 m ²	・水治療法（過流浴）エリアを併設
	作業療法室	120 m ²	1	120 m ²	
	言語聴覚療法室・個別リハビリテーション室	10 m ²	3	30 m ²	・うち1室は防音室とする
	心大血管リハビリ室	40 m ²	1	40 m ²	
	診察・評価室	12 m ²	1	12 m ²	
	面談室	10 m ²	1	10 m ²	
	■ その他付帯諸室				
	共用倉庫	15 m ²	1	15 m ²	
	多目的トイレ	6 m ²	1	6 m ²	
	スタッフ執務室・休憩室	35 m ²	1	35 m ²	
	(リハビリテーション部門 合計)			500 m ²	
栄養	■ 給食栄養エリア				
	栄養管理室	27 m ²	1	27 m ²	
	検収室	16 m ²	1	16 m ²	
	食材保管関係室	19 m ²	1	19 m ²	・食品庫、プレハブ冷蔵庫、プレハブ冷凍庫
	下処理室	29 m ²	1	29 m ²	
	調理室	155 m ²	1	155 m ²	・配膳車置き場を含む
	チルド室	7 m ²	1	7 m ²	・プレハブ
	洗浄室	44 m ²	1	44 m ²	・下膳車置き場を含む
	生ごみ保管庫	6 m ²	1	6 m ²	
	清掃用具保管室	4 m ²	1	4 m ²	清掃用具用ロッカー（W(500)×D(500)）×2、ポリッシャー×1を想定
	スタッフ休憩室	11 m ²	2	22 m ²	・栄養科専用（男女各1室）
	更衣室	－	2	上記を含む	・スタッフ休憩室と兼用
	トイレ	3 m ²	2	6 m ²	・栄養部門専用（男女各1室）
	■ 外来エリア				
	栄養相談室	12 m ²	1	12 m ²	・外来相談室との共用も検討
	■ 病棟エリア				
	面談・説明室（共用）	－	－	再掲	・入院患者の栄養指導に使用
	カンファレンス室（共用）	－	－	再掲	・多職種カンファレンス、集団栄養指導に使用
	(栄養部門 計)			347 m ²	
	部門内共用部		5%	17 m ²	
	(栄養部門 合計)			364 m ²	
地域連携	■ 地域医療連携				
	地域医療連携受付	10 m ²	1	10 m ²	
	執務室	－	1	支援センター執務室を含む	・玄関から近い位置とし、受付窓口を併設
	応接室	8 m ²	1	8 m ²	・外部者対応に使用
	会議室	30 m ²	1	30 m ²	・10～15人程度で利用可能な多職種カンファレンス室
	■ 入退院支援センター				
	入退院受付	10 m ²	1	10 m ²	
	執務室	36 m ²	1	36 m ²	・病床管理担当を含む
	入院前面談室	8 m ²	3	24 m ²	
	待合スペース	－	－	共用部を含む	
	■ 患者相談				
	事務室	－	1	支援センター執務室を含む	
	患者相談室	8 m ²	2	16 m ²	・相談者のプライバシーに配慮 ・扉は廊下側、事務室側の両側に配置し、モニター等を設置
	(地域連携部門 合計)			134 m ²	
医療安全	医療安全管理室	20 m ²	1	20 m ²	
	書類保管スペース	－	－	上記を含む	
	相談室	8 m ²	1	8 m ²	ロケーションによっては感染制御部門を含む他部門の相談室・会議室と兼用することも可能とする。
	(医療安全部門 合計)			28 m ²	
感染対策	感染制御室	20 m ²	1	20 m ²	
	書類保管スペース	－	－	上記を含む	
	感染対策用備蓄庫	30 m ²	1	30 m ²	
	(感染対策部門 合計)			50 m ²	
災害医療	■ 執務エリア				
	執務室（DMAT）	46 m ²	1	46 m ²	・原子力災害医療派遣チーム室としても兼用 ・発災時には受援者の活動スペースとしても使用 ・災害対策本部として利用できるような設備、什器を配備 ・通常は共用の会議室として使用する。
	■ 対応エリア				
	患者受け入れスペース	－	－	－	・通常の2倍の対応スペース（入院） ・通常の5倍程度の対応スペース（外来）
	災害対策用備蓄庫	30 m ²	1	30 m ²	・最低3日分の備蓄品 ・DMAT用備品
	車両配備スペース	－	－	屋外	・DMAT、医療チームの活動用緊急車両
	(災害医療部門 合計)			76 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
原子力災害医療	■ 執務エリア				
	執務室	兼用	1	執務室（DMAT）と兼用	災害医療部門と兼用とすることも考慮
	■ 対応エリア				
	除染・処置室	－	1	再掲	
	緊急被ばく対応病室※再掲	－	4	再掲	・ R I 病室と兼用
	災害対策用備蓄庫	35 m ²	1	35 m ²	・放射線防護を行うために必要な資機材、線量評価を行うために必要な放射線測定器、被ばくの診療・除染のために必要な資機材の保管スペースを兼ねる
	汚染物品保管室	5 m ²	1	5 m ²	・汚染した衣服や資機材、洗浄水等を一時的に保管できる設備を整備
	車両配備スペース		－	屋外	・医療チームの活動用緊急車両
	（原子力災害医療部門 合計）			40 m ²	
健診	■ 健診エリア				
	受診者待合	20 m ²	1	20 m ²	
	受診者更衣室	6 m ²	2	12 m ²	・男女各 1
	診察室	12 m ²	1	12 m ²	・産婦人科内診台は外来診察室を使用
	検査スペース	20 m ²	1	20 m ²	・身体測定・血圧・眼科・聴力検査等
	一般撮影室	－	－	再掲	※以下の検査室は一般診療と兼用
	C T 室	－	－	再掲	
	M R I 室	－	－	再掲	
	乳房撮影室	－	－	再掲	
	骨密度測定室	－	－	再掲	
	内視鏡室	－	－	再掲	
	（健診部門 計）			64 m ²	
	部門内共用部		5%	3 m ²	
	（健診部門 合計）			67 m ²	
物品管理	中央倉庫	120 m ²	1	120 m ²	・搬送ロボットの保管場所も考慮
	検収室	20 m ²	1	20 m ²	
	（物品管理部門 計）			140 m ²	
	部門内共用部		5%	7 m ²	
	（物品管理部門 合計）			147 m ²	
看護	■ 看護管理エリア				
	看護部長室	20 m ²	1	20 m ²	
	看護管理室	25 m ²	1	25 m ²	・労務、人事、業務、教育、物品管理の副部長が執務できる広さを確保
	認定看護師・専門看護師室	25 m ²	1	25 m ²	
	カンファレンス室	25 m ²	1	25 m ²	・看護部会議室を兼ねる
	面談・応接室	15 m ²	1	15 m ²	
	（看護部門 合計）			110 m ²	
医事	■ 医事エリア			0 m ²	
	受付カウンター	26 m ²	1	26 m ²	・近傍に再来受付機コーナーを併設
	待合	－	－	共用部に含む	
	会計窓口	－	－	受付に含む	・近傍に自動精算機コーナーを併設
	医事課執務室	93 m ²	1	93 m ²	・受付に隣接し、計算業務等に対応 ・協議ブースを併設
	レセプト作業室	20 m ²	1	20 m ²	
	スキャンセンター	10 m ²	1	10 m ²	
	相談室	6 m ²	1	6 m ²	・地域連携部門と隣接することにより、相談室を兼用とすることも考慮
	■ 診療情報管理エリア			0 m ²	
	診療情報管理室	36 m ²	1	36 m ²	
	■ 医療情報管理エリア			0 m ²	
	情報システム室	15 m ²	1	15 m ²	
	サーバー室	75 m ²	1	75 m ²	・水害等を考慮して2階以上に設置 ・更新を考慮した面積を確保
	（医事部門 計）			281 m ²	
	部門内共用部		5%	14 m ²	
	（医事部門 合計）			295 m ²	

中核的病院整備所要室一覧表

資料2-2

部門	室名	1室あたり 想定面積	室数	想定面積	備考
管理	■運営エリア				
	院長室	20 m ²	1	20 m ²	
	副院長室	20 m ²	3	60 m ²	
	事務局長室	20 m ²	1	20 m ²	
	応接室	15 m ²	1	15 m ²	
	医局	237 m ²	1	237 m ²	・オンライン会議のための会議ブースを附設
	事務室	80 m ²	1	80 m ²	・総務、人事、経理
	大会議室	400 m ²	1	400 m ²	・症例検討会などに使用 ・最大200人収容可能 ・可動式パーティションを設置
	中会議室	40 m ²	1	40 m ²	・うち1室は40m ² 以上とし、将来の患者動向、住民動向により新たなサービス（精神科デイケア、プレイルーム等）に転用できるよう対応
	小会議室	30 m ²	4	120 m ²	
	■厚生エリア				
	更衣室	－	－	200 m ²	・セキュリティや段階的拡充を考慮し、手術など一部を除き、更衣室は集中配置とする
	当直室	－	－	80 m ²	
	委託職員控室	30 m ²	1	30 m ²	
	ボランティア室	30 m ²	1	30 m ²	
	院内保育所	180 m ²	1	180 m ²	
	■施設管理エリア				
	防災センター	50 m ²	1	50 m ²	
	守衛室	30 m ²	1	30 m ²	
	電話交換室	30 m ²	1	30 m ²	
	■患者サービスエリア				
	売店	60 m ²	1	60 m ²	
	■その他				
	食堂	180 m ²	1	180 m ²	・患者やその家族、職員が使用できる食堂を設置
	洗濯室	30 m ²	1	30 m ²	
	リネン庫	30 m ²	1	30 m ²	・ユニフォーム保管庫を兼ねて、職員出入り口に近い場所に配置することも考慮
	霊安室	12 m ²	1	12 m ²	
	廃棄物保管室	40 m ²	1	40 m ²	・場所は病院本館外とすることも考慮
	（管理部門 計）			1,974 m ²	
	部門内共用部		5%	99 m ²	
	（管理部門 合計）			2,073 m ²	
研究・教育・人材育成	■教育・研修エリア				
	研修室	35 m ²	1	35 m ²	・医療系学生向けのセミナー室・カンファレンス室として使用（10人程度） ・消防（救急隊）等との症例検討会等にも使用 ・プロジェクター、モニター等のAV設備を配置 ・流し台、冷蔵庫等の設置スペース
	シミュレーションラボ（スキルスラボ）	40 m ²	1	40 m ²	・挿管・穿刺等のトレーニングに使用できるシミュレーターを設置 ・院内外向けのBLS講習等にも使用するため、外部からの動線に配慮 ・備品保管等の倉庫を併設 ・なお、病床を拡充するまで運用しない病棟エリアは、模擬病室や模擬外来といった教育・研修にも活用
	研修医執務スペース	40 m ²	1	40 m ²	（独立または医局と一体整備）
	学生更衣室	10 m ²	2	20 m ²	・男女各1（独立または職員と一体整備）
	学生控室	60 m ²	1	60 m ²	・専門を問わず共用の学生控室とする ・流し台、冷蔵庫等の設置スペース ・設置場所は設計時に検討
	図書室	80 m ²	1	80 m ²	
	（研究・教育・人材育成部門 計）			275 m ²	
	部門内共用部		0.05	14 m ²	
	（研究・教育・人材育成部門 合計）			289 m ²	
共用部				4,500 m ²	
供給部	機械室			1,380 m ²	
合計				25,387 m ²	